

『邦訳 日葡辞書』 ⑭ (最終回)

——わが国中世の児童文化史研究によせて——

M・M・M

Y字で始まる語

ヤドシ、ス、イタ(宿し、す、いた)

自分自身の中に何かを持つ、または、蔵する。

(例) タイナイニ コラ ヤドス(胎内に子を宿す) 腹の中に子をもっている。受胎する。

ヤイ(やい)

子どもや奉公人に話しかけるのに時おり用いる感動詞。

(例) キケ ヤイ、カウセイヤイ(聞けやい、かうせい やい、など) おい、こんなぐあいによせよ、など。

ヤマウバ(山姥)

その顔は誰も知らないが、山林に居ると言われているある

女。

ヤシナイ、ウ、ウタ(養ひ、ふ、うた)

養育する、あるいは、扶養する。

ヤシナイギミ(養ひ君)

乳母がその養育する幼児を呼ぶのに用いる語。

ヤシナイゴ(養ひ子)

養子とした子。

ヨウジ(養子)

ヤシナイタテ、ツル、テタ(養ひ立て、つる、てた)

養育して成長させる。

ヤシナイヲキ、ク、イタ(養ひ置き、く、いた)

自分の家に置いて育て、扶養する。

ヤシナイヲヤ(養ひ親)

誰かを養子にしている父や母。

ヤシワゴ(玄孫)

四親等にあたる孫、すなわち、曾孫の子。

ヤユウ(野遊)

ノ アンビ (野遊び) 野原での遊び。文書語。

ヤユウ (夜遊)

ヨルノ アンビ (夜の遊び) 夜の遊び。文書語。

エビス (恵比須)

漁師の偶像〔神〕。また、操り人形。

(例) エビスヲ マウス (恵比須を舞はず) 操り人形を

踊らせる。エビス カキ、エビスマワシ (恵比須

昇き、または、恵比須舞はし) 操り人形を踊らせ

る者。ただし、その操り人形はデコノボウ (でこ

のぼう) と呼ばれる。

エボシギ (烏帽子着)

すなわち、ゲンブク (元服) 子どもが名を変え、初めて烏

帽子をかぶること。

エボシゴ (烏帽子子)

自分の名前を変え、この烏帽子を頭にかぶって元服をする

子ども。すなわち、洗礼式における受洗者に相当する子ども。

も。代父に相当する親代りの人をエボン ヲヤ (烏帽子親)

と言う。

エボシナ (烏帽子名)

子どもにこの烏帽子をかぶせて、最初の名前を廃し、初めて

刀を佩用させる時に、その子どもにつける名前。

エボシヨリ (烏帽子折)

演劇〔能〕で使う烏帽子を作る職人。

エボシヨヤ (烏帽子親)

右述のように子ども〔烏帽子子〕に名前をつけ、烏帽子を

かぶせる親代りの人。

エホン (絵本)

絵を描く手本となる写本や原本。

エイジ (嬰兒)

ミドリコ (嬰) 幼児。

エン (縁)

仏法において非常によく使われる語で、いろいろな自然の

物事の発生と符号するさまさまの事柄を意味する。

(例) キョウダイノ エン、クンシンノ エン (兄弟の

縁、君子の縁)

別に他の原因理由もないのに、ある人々の本性が結びついて、互いに親和することを言う。

(例) ムエンノ ヒト (無縁の人) 親戚も友人などもない

孤独な人。ムエンニ (無縁に) すなわち、ただ

で、無料で。

エナ (胞衣)

婦人が分娩の時に排出する胎盤で、胎内ではその中に胎児

が包まれているもの。九州のある地方では、これをイヤ

(いや) と言う。

エンニチ (縁日)

月のうちの定まった日で、神に参拝し、祭りをする日。

エノコ (狗子)

子犬。

エンシ (燕子)

ツバメノコ (燕の子) つばめの子。文書語。

エンユウ (宴遊)

または、ユウエン (遊宴) とも言い、むしろその方がまさる。サカモリ アソブ (宴遊ぶ) 宴会、遊樂。

エキ (易)

人の出生に基づいて、その人の本性、特徴なり、さまざまの出来事なりを教えるある書物、または、術。

エキレイ (疫癘)

ヤクビョウ (疫病) に同じ。ペストのような伝染病。

ヨバリ (夜ばり)

夜ひとりでに小便をもらすこと。

(例) ヨバリヲ スル、タルル (夜ばりをする、または

垂るる) 同右。

ヤウボ (養母)

ヤシナイハハ (養母) ある人を育てて養子にする母親。

ヨウチ (幼稚)

幼い男の子や女の子。

ヨウチャウ (幼長)

ヲサナシ、ヒトトナル (幼し、ひととなる) 子供と大人と。

文書語。

ヤウケン (養君)

身分の高い養子。

ヨウケン (幼君)

イトケナイ キミ (幼い君) まだ幼児である主君。

ヨダレカケ (涎掛)

銜の頸のところにつける喉輪。また、幼児につける涎受け。

ヨダツ (与奪)

相続によって与えること、すなわち、父が子に家や財産などを引き渡すこと。

ヤウフ (養父)

ヤシナイ チチ (養ひ父) 他人を養子にして、養育し扶養する父。

ヨウガク (幼学)

イトケナク マナブ (幼なく学ぶ) 幼時から勉強すること。

と。文書語。

ヤウイク (養育)

ヤシナイ、ウ (養ひ、ふ) 扶養して育てること。

ヤウジ、または、ヤウシ (養子)

ヤシナイゴ (養ひ子) 養子。

(例) ヒトラ ヤウジ スル (人を養子する) 人を養子

にする。

ヨウジ (羊子)

にする。

ヒツジノ コ (羊の子) 子羊。

ヤウジ、ズル、ジタ (養じ、ずる、じた)

人を養子とするために育て養う。

ヨジト (夜漚)

夜ひとりで小便をもらすこと。

(例) ヨジトヲ スル、タルル (夜漚をする、または、

垂るる)

ヨナキ (夜泣き)

(例) ヨナキヲ スル (夜泣きをする) 幼児が夜泣くこ

と。

ヨウニ (幼児)

幼児。

ヨリコ (寄子)

他人を頼り、その人の庇護のもとにある者、あるいは、他

の人の配下にある者。

ヨリヲヤ (寄親)

ある主君の家中とか、その他の所とかにおいて、ある者が

頼り、よりすがる相手の人。

ヨウテイ (幼帝)

イトケナイ ミカド (幼ない帝) 国王の幼い息子で、国王

となって国を継承した人。

ヤウシ (養子)

ヤシナイゴ (養ひ子) 養子。ヤウジ (養子)。

ヨウシヨウ (幼少)

イトケナク ヲサナシ (幼なくをきなし) 幼年時代。

ヨウシユ (幼主)

ヨウテイ (幼帝)。

ユビ (指)

指。

(例) ユビヲ クワユル (指を銜ゆる) すなわち、指を

くわえている子どものように、恥ずかしそうにし

ている。

ユガク (遊樂)

種々の楽器による音楽。文書語。

ユギヤウ (遊行)

遊びたのしみながら歩くこと。

ユウギョ (遊魚)

水の中で遊びたわわれている魚。文書語。

ユイテイ (遺弟)

ノコス デシ (遺す弟子) すなわち、師の死後に残って、

その教えを継ぐ弟子。

ユケ (遊戯)

アソビ タワブルル (遊び戯るる) 遊ぶこと、または、た

わむれふざげること。

ユキョウ (遊興)

アソビ、ヲコス (遊び、興す) すなわち、楽しみごとや遊

び。

ユウクワン (遊翫)

アソビ、ナグサム (遊び、なぐさむ) 遊び楽しむこと。

ユウラク (遊楽)

アソビ、タノシミ (遊び楽しむ) 楽しみと遊びごとと。

ユウラン (遊覧)

楽しみごと、または、遊び。

ユサン (遊山)

野原や林や山などでの遊び。

ユウシ (猶子)

(例) ヌサ ガンスイ (遊山翫水) 山中や水辺の遊び。

ユウエン (遊宴)

伯父・叔父が養子とした甥。

ユウウ (遊々)

アソビ アソブ (遊び遊ぶ) 遊び。

Z字で始まる語

ツダツ (肚脱)

またはヨダレ カケ (涎掛け) 幼児の首から垂らして掛ける涎掛け、または、婦人が胴着のように用いる前掛け。ま

た、禅宗の坊主がきたない仕事をする際に用いる前掛け。

||了||

十四回にわたって掲載してきました『邦訳日葡辞書』は、今回をもって終了します。なお、掲載号は左記の通りでした。

⑭	……	”	6号
⑬	……	”	5号
⑫	……	”	4号
⑪	……	82卷1号	
⑩	……	”	11号
⑨	……	”	9号
⑧	……	”	8号
⑦	……	”	4号
⑥	……	81卷1号	
⑤	……	”	11号
④	……	”	9号
③	……	”	6号
②	……	”	5号
①	……	80卷2号	

